

# 令和5年度 ミニ・キエーロモニター事業の実施結果

## 1 事業概要

土の中の微生物の力で生ごみを分解・消失する生ごみ分解処理容器「ミニ・キエーロ」を使用し、その有効性・課題を検証するとともに、家庭から排出される生ごみ減量の取り組みを普及推進するものです。市内の109世帯で実際にミニ・キエーロを使用していただき、使用実績についてアンケート調査を実施しました。

調査期間：令和5年8月1日～31日 回答数：100



モニターの皆様！  
ご協力いただき  
ありがとうございました！

## 2 実施結果

### (1) 処理状況

ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「うまくいっている」が72件、「うまくいっていない」が27件であり、約7割がうまくいっているとの回答でした。

うまくいっていない理由については、「分解しない」が最も多く15件、「手間がかかる」が10件、「虫がわく」が2件、でした。

今年の夏は特に猛暑が続き、土が乾きやすく水分不足で分解に時間がかかった可能性も考えられます。

#### 処理状況

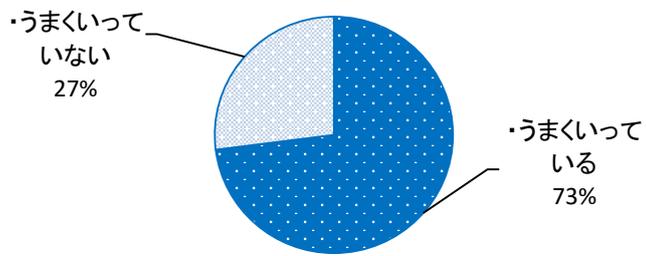
・うまくいっている	73
・うまくいっていない	27

#### うまくいっていない理由

・分解しない	15
・手間がかかる	10
・臭いが出る	0
・虫がわく	2
・その他	0

※複数回答あり

### 処理状況



### (2) 投入量・頻度

全モニター世帯の生ごみ投入量は、8月の1か月で合計約206kgであり、1回あたりの平均投入量は約197gでした。

投入頻度は「2～3日に1回」が最も多く40件、次いで「ほぼ毎日」が21件であり、平均投入頻度は2.9日に1回(月に換算すると11回程度)でした。

上記から、ミニ・キエーロを活用することで、1世帯あたりひと月約2.2kgの生ごみ削減が見込まれます。

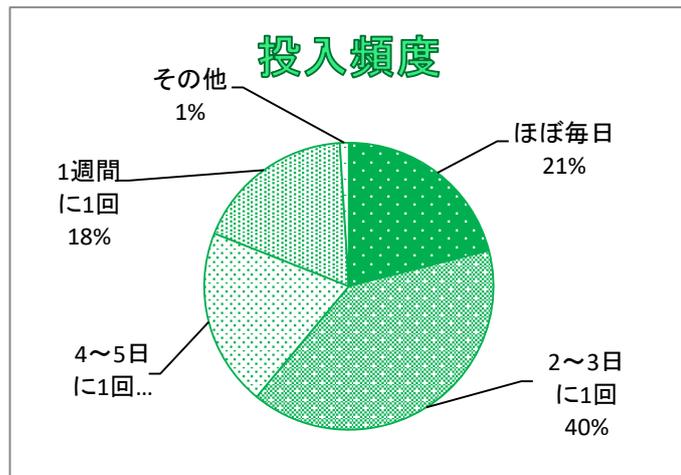
#### 投入量実績(8月)

投入量合計(g)	206,037
平均投入量(g/回)	197

#### 投入頻度

ほぼ毎日	21
2～3日に1回	40
4～5日に1回	20
1週間に1回	18
その他	1

### 投入頻度



### (3) 投入される主な生ごみ

野菜くず(皮、芯、へた)、果物の皮、お茶(麦茶)がら、コーヒーかす、卵の殻、ご飯、麺類、肉の脂身、調理油、煮物やラーメンの汁、魚のあら(頭、骨、皮、内臓) など

※下線を引いたものは分解されにくい又は分解されない

#### (4) 今後の意向

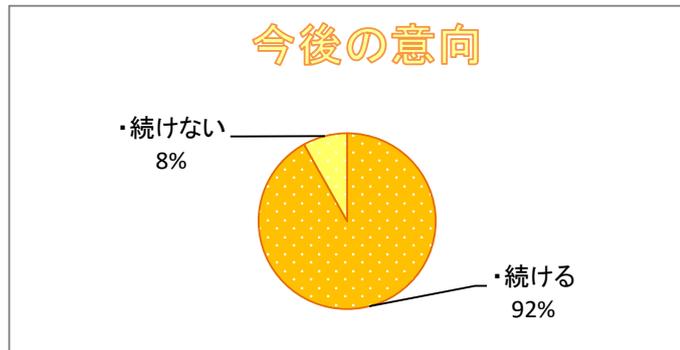
ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「続ける意向である」が91件、「続けない」が8件であり、9割以上が今後も利用を続けるとの回答でした。

(1)で「うまくいっていない」と回答した世帯でも、「続ける意向である」との回答を多くいただきました。またミニ・キエーロでは容量が足りないと感じた世帯の中には、同様の容器を自作している世帯もありました。

##### 今後の意向

・続ける	91
・続けない	8

※未回答1



##### 【肯定的な意見(うまくいった点や工夫した点)】

- ・においがある生ごみをすぐに処理でき、思ったより手間ではなかったので良かった
- ・魚をさばいた内臓等も処理できるので、ごみの日を気にせずに調理できてよかった
- ・細かく刻むと分解が早く、ごみの減量を実感した
- ・レンジで温めると早く分解された、「生ごみをレンチン」新しい習慣になった
- ・分解の難しい野菜くずをベジブロス(野菜からとる出汁)として活用、その後に細かくして投入した
- ・学校で習ったSDGSにも繋がるので今後も使っていきたい
- ・土の生命力に感心した、楽しむことが継続の秘訣だと思う ……等

##### 【否定的な意見(問題点)】

- ・分解しきれないものを一気に入れられないため、投入を断念したのものもあった
- ・料理中にミニ・キエーロに入れに行くことができないと難しい
- ・玉ねぎの皮、卵の殻、貝は分解しない、分解に時間がかかると何も穴を探すのが大変
- ・細かく切ること、入れられるか入れられないかの分別が手間
- ・陽当りはいいが水分が足りず分解ができなかったかもしれない ……等

#### 3 実施結果から考えられる、ミニ・キエーロをトラブルなく使用するためのポイント

ミニ・キエーロモニター参加者の皆さまにおかれましては、以下のポイントを押さえてミニ・キエーロの使用を継続していただき、引き続き、生ごみ削減にご協力をお願いします。

- (1) 陽あたりが良いなど、**できるだけ温かい場所**にミニ・キエーロを置く。
- (2) ミニ・キエーロで**分解されやすいものを中心に投入**する。  
分解されにくいものを投入する際は、分解されやすいものよりも細かく、火を通したりする。
- (3) 分解できる量は、各家庭の設置状況や天候等に大きく左右されるため、**投入量の調整**を行う。  
足りない場合は各家庭に合ったミニ・キエーロを作ってさらに生ごみの削減。
- (4) 土に穴を掘って生ごみを入れ、**土とよく混ぜて**、掘った土をかぶせる。  
**生ごみと土ができるだけ多く接することが、早期分解のコツです。**
- (5) 分解が進まなければ、**水分、油分を調整し、さらに土とよく混ぜる。**
- (6) **深いところに埋め、上に乾いた土をかぶせる**ことで、臭いや虫を防げます。



#### 4 モニターの皆様の調査や自由研究について

モニター参加者の方より、夏休みの自由研究や様々な調査資料、自作ミニ・キエーロの写真等をたくさん送っていただきました。

ミニ・キエーロについて、たくさんの興味や関心をお寄せいただき本当にありがとうございます。

##### 【モニター参加者からいただいた調査や自由研究等】

- ・ペットボトルを利用してミニミニ・キエーロを作成し、生ごみの消える様子を観察
- ・土の違いによる分解の違いについての研究
- ・気温や土の温度による生ごみの分解の差についての研究
- ・投入した生ごみの種類によつての分解速度や状態についての研究 ……等